

The background features large, semi-transparent yellow letters 'D' and 'X' that span across the top and middle of the page. The 'D' is on the left and the 'X' is on the right.

鈴木電設株式会社

DX計画 Ver. 2023



INDEX

001	経営理念	P 3
002	DX計画の全体像	P 4
003	DXビジョン	P 5
004	DX戦略	P 6
005	DX推進体制	P 7
006	人材・IT環境整備	P 8
007	指標	P 9

お客様に喜ばれる仕事を通じて 成長し夢ふくらむ会社を目指します。 ご縁ある全ての人への感謝の心を育てます。

我々、鈴木電設株式会社が定義するお客様に喜ばれる仕事とは、光熱費、特に電気代に特化した省エネを提案する仕事であり、お客様の支出を削減させお客様に豊かになってもらうことが我々の使命です。

お客様からの「ありがとう」で、私たち自身も常に成長し、お客様に喜ばれる仕事の創造に尽力しています。

そして、日々働く社会人として働く人の夢を大切に一人一人がいきいきと夢を膨らませるような会社をみんなで目指します。

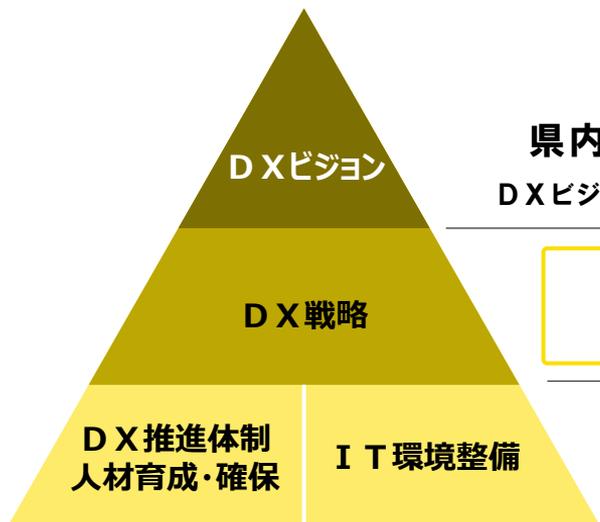
お客様の為、自分の為、家族の為、先祖の為、会社の為。

ご縁ある全ての人に感謝し、これからも「ありがとう」を集め続けます。

経営 理念

お客様に喜ばれる仕事を通じて成長し夢ふくらむ会社を目指します。
ご縁ある全ての人への感謝の心を育てます。

鈴木電設株式会社 DX計画 ver2023



県内企業のデジタル化を支援することで、地域DXを強力に推進する。

DXビジョン実現の方向性：これまで培った当社のデジタル化ノウハウを高度化し、地域を支援する。

戦略①

開発内製化の推進

戦略②

データの
蓄積・分析・評価

戦略③

デジタル化支援サービスの
展開

DX推進体制

- 代表取締役社長がDX計画の全体統括を担当
- 取締役がDX戦略の推進を管理

人材育成・確保の施策

- 従業員のリスキリング
- 外部企業との協働によるノウハウの獲得
- IT人材の積極採用

IT環境整備の施策

- クラウド移行に向けた環境整備
- 開発環境の整備
- セキュリティ対策

県内企業のデジタル化を支援することで、 地域DXを強力に推進する。



“少子高齢化による人手不足”や“アナログな業務手法による生産性低下”等、多くの課題が企業の生産活動に大きく影響しています。これらの課題への解決手段として、デジタル活用による省人化・効率化が非常に有効であると認識しています。

これまで、当社はデジタル技術を積極的に活用し、徹底的な生産性向上に取り組んできました。しかし、FAXや紙帳票を利用する企業が未だ多く存在し、これらは当社だけでは解決できない状況です。企業が持続的な成長を行っていくためには、地域全体でのデジタル化が必要です。

これまで当社が培ってきたデジタル化のノウハウは、他の企業においても十分活用できるものであり、当社のノウハウを提供することが地域全体のITリテラシーの向上と持続的な成長に繋がると考えています。

以上の認識から、**DXビジョン「県内企業のデジタル化を支援することで、地域DXを強力に推進する。」**を策定しました。このDXビジョン実現を目指し、当社の変革を継続していきます。

DXビジョン実現の方向性

これまで培った当社のデジタル化ノウハウを高度化し、地域を支援する。

外部企業との連携・協業を加速させ、より専門性の高いスキルを社内に獲得することでデジタル化ノウハウを高度化します。そのノウハウを「デジタル化支援サービス」として地域を支援することでDXビジョンを実現します。

デジタル化ノウハウを高度化

地域を支援

戦略①**開発内製化の推進**

業務アプリ、クラウド、RPA開発の内製化を推進します。開発した業務アプリの社内リリースを行い、社内利用のデータを基に改善を図ります。

社内リリース



戦略①と②の継続的な実施



フィードバック

戦略②**データの蓄積・分析・評価**

開発等で得られるデータの蓄積に向けて、ナレッジデータベースを整備し、定期的な分析と評価を行います。

デジタル化
ノウハウの展開**戦略③****デジタル化支援サービスの展開**

デジタル化のノウハウをサービス化し、業務効率化やシステム開発等のデジタル化支援サービスを展開します。

戦略**具体施策****戦略①****開発内製化の推進**

- 社内の規則等、様々な情報が閲覧できる業務用アプリの開発
- 社内システムのクラウド移行
- RPAを活用した定型業務の自動化

戦略②**データの蓄積・分析・評価**

- ナレッジデータベースの構築
- ナレッジ（開発工数・期間、不具合、従業員評価、品質等）の蓄積
- 定期的なナレッジの分析・評価と開発担当者へのフィードバック

戦略③**デジタル化支援サービスの展開**

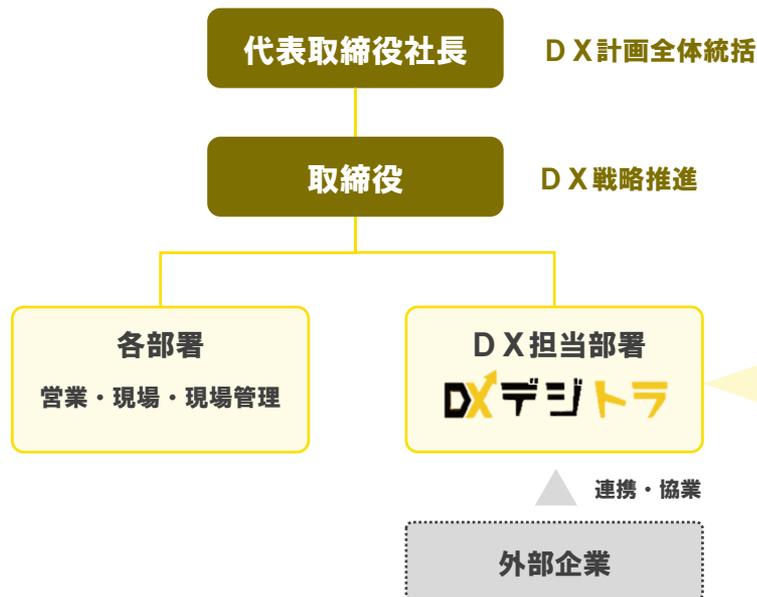
- 業務用アプリの開発支援
- クラウドサービス導入支援
- RPAの導入支援



下記のDX推進体制によりDX戦略を推進します。

DX推進体制

- ・代表取締役社長がDX計画の全体統括を担当
- ・社長直下の取締役が、DX戦略の推進を管理



企業のDX推進をサポートする『デジトラ』を開始しました。

デジトラでは、弊社のデジタル化・DX推進のノウハウを活かした、業務プロセスの改善、デジタル化、DXのサポートを活動の中心としています。

熊本全体のDXを推進、労働環境の改革を行い、人が“辞めない”“出ていかない”“集まる”県に！
他県に負けない熊本を目指します。

下記の人材・IT環境整備によりDX戦略を推進します。

人材育成、確保の施策

○従業員のリスキリング

- ・IT資格取得に対する奨励金制度の設置
- ・プログラミング学習スクール受講費用の補助

○外部企業との協働によるノウハウの獲得

- ・外部企業との協働案件の受注
- ・外部企業との定期的な情報交換の実施

○IT人材の積極採用

- ・インターンシップの実施
- ・キャリア採用の実施

IT環境整備の施策

○クラウド移行に向けた環境整備

- ・データ保管サーバのクラウド移行
- ・紙帳票の更なるデジタル化、クラウド移行

○開発環境の整備

- ・開発に特化したハイスペックなハードウェアの整備
- ・統合開発環境など開発に必要なソフトウェアの整備

○セキュリティ対策

- ・端末のセキュリティ強化
- ・ネットワーク監視の強化



下記の指標によりDX計画の推進状況を管理します。



DXビジョン

県内企業のデジタル化を支援することで、
地域DXを強力に推進する。



全体指標

2025年 当社の支援先企業による
DX推進事例発表会の実施

戦略①

開発内製化の推進



指標①
年間開発件数

戦略②

データの
蓄積・分析・評価



指標②
年間評価件数

戦略③

デジタル化支援サービス
展開



指標③
年間受注件数